

2020年8月6日

(1/2)

スズキ、後付け急発進等抑制装置 「ふみまちがい時加速抑制システム」を発売

スズキ株式会社は、後付けが可能な急発進等抑制装置「ふみまちがい時加速抑制システム」を、2020年8月21日より発売する。

今回発売する「ふみまちがい時加速抑制システム」は、2012年9月から2014年7月に販売したワゴンR FX・FXリミテッドに取り付け^{※1}ができ、発進時、車両前方または後方の壁などの障害物を検知した時に、ランプとブザーでお知らせし、その状態からアクセルペダルが強く踏み込まれた場合にエンジン出力の上昇を抑制して、意図しない急加速を防止する目的の装置である。

スズキは、自動車事故のない未来に向けて予防安全技術「スズキ セーフティ サポート」の普及に努めており、今回導入する「ふみまちがい時加速抑制システム」により、お車を永くご愛用頂いているお客様にも安心をお届けする。

「ふみまちがい時加速抑制システム」は、国土交通省が定める「障害物検知機能付きペダル踏み間違い急発進抑制装置等」に該当し、サポカー補助金制度の対象^{※2}となる。

●メーカー希望小売価格(消費税10%込み)

ふみまちがい時加速抑制システム(本体) 63,800円 (別途取付け工賃が必要です)



超音波センサー (前)

※センサーの色はブラックのみ。



超音波センサー (後)



表示機

※機能説明のために点灯させたものです。

※1 レーダーブレーキサポート装着車、5MT車、20周年記念車、昇降シート車、スティングレーは対象外。追加費用(部品代など)が必要な場合や取り付けができない場合があります。また、取付け対応ができる店舗が限られています。詳しくは弊社お客様相談室(TEL 0120-402-253)へお問い合わせください。

※2 本装置のサポカー補助金は40,000円です。
「後付け装置取扱事業者」に登録された事業者が、2020年度中に満65歳以上となる個人のお客様、および、2020年度中に満65歳以上となる運転者を雇用する事業者を対象となる装置の販売・取付けを行った場合、サポカー補助金(後付装置)の対象となります。詳しくは、経済産業省、国土交通省、または一般社団法人次世代自動車振興センターのホームページをご確認ください。

* ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、障害物の種類やアクセルペダルの踏み加減、その他天候等の条件によっては作動しない場合があります。機能を過信せず、安全運転を行なってください。また、本装置はエンジン出力を抑制し、加速を抑制しますが、ブレーキをかけて車両を停止する機能はありません。

●機能

本システムは、前後のバンパーに4個（前後各2個）の超音波センサーと、運転席側インパネ上部に装着した表示機からなり、次の機能により運転者をサポートする。

1. 前後の障害物検知時の通知および加速抑制機能

- ・ 車両の前後に取り付けた超音波センサーが、前方または後方約 3m 以内で壁などの障害物を検知した時に、運転者にランプとブザーで注意を促す。
- ・ 前方または後方の障害物が検知された状態でアクセルペダルを強く踏み込んだ場合、運転者へランプとブザーで警告するとともにエンジン出力を制御し、加速を抑制する*。

*加速抑制機能が作動している時に、アクセルペダルを約 5 秒以上踏み続けると加速抑制制御が解除され、緩やかに発進する。

2. 後退時の加速抑制機能

- ・ 後退時に、車速が約 5km/h を超えた時に加速を抑制すると共に、ランプとブザーで運転者にお知らせする。